

午後

# 問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

# 注 意 事 項

1 試験時間等

13時45分～15時30分

午後の試験問題数は67問で、解答時間は1時間45分です。

2 解答用紙への氏名の記入

解答用紙には、すでに「受験番号(●塗りつぶし含む)」「カナ氏名」が印刷されています。「受験番号」と「カナ氏名」が正しいかどうか確認して、「カナ氏名」の下の欄に、漢字で氏名を記入してください。

(例) 受験番号 S011-23456 の場合

## 社会福祉士国家試験 (午後) 解答用紙

会場	福祉大学
1	第1教室

氏名	カナ	フクシ タロウ
	漢字	

	S	0	1	1	-	2	3	4	5	6
受験番号	●	●	○	○	●	○	○	○	○	○
	○	①	●	●		①	①	①	①	①
		②	②	②		●	②	②	②	②
		③	③	③		③	●	③	③	③
		④	④	④		④	④	●	④	④
		⑤	⑤	⑤		⑤	⑤	⑤	●	⑤
		⑥	⑥	⑥		⑥	⑥	⑥	⑥	●
		⑦	⑦	⑦		⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
		⑧	⑧	⑧		⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
		⑨	⑨	⑨		⑨	⑨	⑨	⑨	⑨

3 解答方法

(1) 出題形式は五肢択一を基本とする多肢選択形式となっています。各問題には1から5まで5つの答えがありますので、そのうち、問題に対応した答えを〔例1〕では1つ、〔例2〕では2つを選び、解答用紙に解答してください。

〔例1〕 問題 201 次のうち、県庁所在地として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 函館市
- 2 郡山市
- 3 横浜市
- 4 米子市
- 5 北九州市

正答は「3」ですので、解答用紙の

問題 201 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、③ を塗りつぶして、

問題 201 ① ② ● ④ ⑤ としてください。

〔例2〕 問題 202 次のうち、首都として、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 シドニー
- 2 ブエノスアイレス
- 3 上海
- 4 ニューヨーク
- 5 パリ

正答は「2と5」ですので、解答用紙の

問題 202 ① ② ③ ④ ⑤ のうち、② ⑤ を塗りつぶして、

問題 202 ① ● ③ ④ ● としてください。

(2) 採点は、光学式読取装置によって行います。解答は、鉛筆を使用し、○の外にはみださないように濃く塗りつぶしてください。なお、シャープペンシルは問題ありませんが、ボールペンは使用できません。

良い解答の例……………●

悪い解答の例……………   ○  (解答したことになりません)

(3) 一度解答したところを訂正する場合は、消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残ったり、 のような消し方などをした場合は、訂正したことになりませんので注意してください。

(4) 〔例1〕の問題に2つ以上解答した場合は、誤りになります。〔例2〕の問題に1つ又は3つ以上解答した場合は、誤りになります。

(5) 解答用紙は、折り曲げたり、チェックやメモなどで汚したりしないように特に注意してください。

#### 4 その他の注意事項

(1) 印刷不良や落丁があった場合は、手を挙げて試験監督員に連絡してください。

(2) 問題の内容についての質問には、一切お答えできません。

## 社会調査の基礎

問題 84 現行の統計法に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 一般統計調査は、行政機関が行う統計調査のうち基幹統計調査以外の調査のことをいう。
- 2 基幹統計調査である国勢調査は、10年ごとに無作為抽出による調査が行われる。
- 3 調査を実施する行政機関は、その機関内に統計委員会を置かなければならない。
- 4 基幹統計の公表の場合には、インターネットを利用した公表が禁じられている。
- 5 成年被後見人には、基幹統計調査の報告を求められることはない。

問題 85 社会調査における個人情報保護に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会調査は公益性が高いため、調査で得られた個々の調査対象者の氏名、性別、年齢などの属性は、公表すべきである。
- 2 社会調査で得られたデータを共同研究者と検討する際には、調査対象者の意向にかかわらず、個人情報を秘匿しなくてよい。
- 3 社会調査の標本抽出が目的であれば、選挙人名簿あるいは住民基本台帳から自由に個人情報を得ることができる。
- 4 社会調査は、調査の目的、収集データの利用方法、そして結果の公表の方法をあらかじめ文書あるいは口頭で調査対象者に知らせ、了解を取った上で実施する。
- 5 量的な調査では、調査対象者の氏名や回答者番号が書かれた対象者リストと調査票を、一緒にまとめて管理しなければならない。

問題 86 全数調査と標本調査に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 標本調査の場合、測定誤差は生じない。
- 2 無作為抽出による標本調査の場合、母集団の性質について統計的に推測できる。
- 3 標本調査の場合、標本誤差は生じない。
- 4 全数調査の場合、測定誤差は生じない。
- 5 全数調査の場合、母集団から一部を取り出し、取り出した全員を対象に調査する。

問題 87 横断調査と縦断調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 トレンド調査とは、同一対象者を継続的に追跡することを通じて、調査対象者の変化を知ろうとする調査法である。
- 2 同じ調査票を用いて、4月にR市、5月にS市で調査を行えば、縦断調査といえる。
- 3 パネル調査では、調査の回数を重ねるにつれてサンプル数が増加する。
- 4 横断調査は、ある一時点での特定の市で実施する市民意識調査は含まれない。
- 5 横断調査では、因果関係を特定するに当たり制約が伴う。

問題 88 質問紙調査の方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 郵送調査法は、返送時に氏名を記入する必要があるため、匿名性を確保するのが難しい。
- 2 訪問面接調査法は、プライバシーに関わる質問をするのに適している。
- 3 複雑で難しい質問には、自記式で質問紙に記入する方法が適している。
- 4 留置調査法は、他記式なので、記入漏れや記入ミスを抑制できる。
- 5 調査対象者本人の回答であるかを確認するには、他記式による記入が望ましい。

問題 89 質問紙の作成に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「糖尿病予防のために食事や運動に気を付けていますか」というように、複数の事柄は一つの質問文で尋ねる方が望ましい。
- 2 前の質問の回答が次の質問の回答に影響を与えることを促すような質問の順番にすることが望ましい。
- 3 「家事は一般的に夫婦で平等に分担すべきですか」という質問文では、回答者が自分の家庭でそうすべきだと考えているかどうかは分からない。
- 4 意識調査の質問では、回答を明確にするために「どちらともいえない」という選択肢を設けてはならない。
- 5 調査票のレイアウトや色を工夫することは、回答をゆがめることになるので行うべきではない。

問題 90 質的調査に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 エスノメソドロロジーの会話分析は、民族の文化を描き出す方法である。
- 2 グラウンデッド・セオリー・アプローチでは、分析を進めた結果としてこれ以上新しい概念やカテゴリーが出てこなくなった状態を、理論的飽和と呼ぶ。
- 3 非構造化面接とは、インタビューの質問項目をある程度計画しておき、話の流れに応じて柔軟に聞き取りをしていく方法である。
- 4 トライアングレーションとは、調査者と調査対象者が協力して行う調査方法である。
- 5 フォーカスグループインタビューとは、無作為に選ばれた調査対象者を集め、グループで聞き取りを行う方法である。

## 相談援助の基盤と専門職

問題 91 社会福祉士及び介護福祉士法で定められている社会福祉士の業務と義務に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 社会福祉士でなければ社会福祉士の名称を用いて業務を行ってはならない。
- 2 業務を行う上で主治医の指示を受けなければならない。
- 3 5年ごとに更新のための研修を受けなければならない。
- 4 秘密保持の義務は、社会福祉士でなくなった後においては適用されない。
- 5 業務を行うに当たり、福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。

問題 92 「ソーシャルワークのグローバル定義」(2014年)におけるソーシャルワーク専門職の中核となる任務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 人々のエバリュエーション
- 2 技術開発の促進
- 3 自民族中心主義の促進
- 4 自己変革の促進
- 5 人々のエンパワメントと解放

(注) 「ソーシャルワークのグローバル定義」とは、2014年7月の国際ソーシャルワーカー連盟(I F S W)と国際ソーシャルワーク学校連盟(I A S S W)の総会・合同会議で採択されたものを指す。

問題 93 日本の社会福祉の発展に寄与した人物に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 石井十次は、医療ソーシャルワーカーとして実践に携わった。
- 2 浅賀ふさは、北海道家庭学校を創設し、感化教育を実践した。
- 3 岡村重夫は、社会関係の主体的側面に焦点を当てた社会福祉固有の視点と領域を提起した。
- 4 留岡幸助は、ケースワーク技術や援助プロセスにおける理論を発展させた。
- 5 竹内愛二は、「無制限主義」を掲げ、孤児を救済する民間社会事業を展開した。

問題 94 事例を読んで、NPO法人の職員(社会福祉士)によるストレングス視点に基づくボランティアへの発言として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

T町の基幹産業は農業であったが、従事者の高齢化や人口減少により担い手の確保に困っていた。そこで、地元農家が農福連携で障害者の雇用機会の拡大を目的としてNPO法人を立ち上げた。今日は、障害者支援施設から軽度の知的障害のある十数名の利用者が、初めて農作業体験に来ており、地元の大学生ボランティアに作業に付き添ってもらうことにした。

- 1 「もっと農作業をしたいと本人が望んでも、全員同じ作業量を守ってください」
- 2 「行った農作業以外に関心を示していた作業があれば、報告してください」
- 3 「本人が困っていたら、あなたが代わりに農作業を行ってください」
- 4 「農作業に変化をもたせるために、短時間で違う農作業に移らせてください」
- 5 「利用者同士が農作業中に話をしていたら、話さないように注意してください」



問題 95 次のうち、ノーマライゼーションの原理を八つに分けて整理した人物として、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ソロモン(Solomon, B.)
- 2 バンク－ミケルセン(Bank-Mikkelsen, N.)
- 3 ヴォルフエンスベルガー(Wolfensberger, W.)
- 4 サリービー(Saleebey, D.)
- 5 ニイリエ(Nirje, B.)

問題 96 民生委員法で規定されている民生委員に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 民生委員は、その職務に関して、市町村長の指揮監督を受ける。
- 2 民生委員には、給与が支給される。
- 3 民生委員には、定年がある。
- 4 民生委員の指導訓練は、都道府県知事が実施する。
- 5 民生委員は、都道府県知事が定める区域ごとに、地域ケア会議を組織する。

問題 97 事例を読んで、母子生活支援施設の母子支援員(社会福祉士)の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん(31歳、女性)とBちゃん(7歳、女兒)は、市の福祉事務所を通じて、母子生活支援施設に入所している。Aさんは、夫の暴力に耐え切れず、仕事を辞め、Bちゃんを連れて逃げてきた。AさんとBちゃんの母子関係は良いが、Bちゃんには精神的に不安定な面がある。このため、Bちゃんは学校を休みがちである。Aさんは夫と離婚し、新たな仕事を見つけ、Bちゃんとの安定した生活を得たいという。

- 1 Bちゃんへの個別対応は、Bちゃんを通う学校の学級担任に一任する。
- 2 Bちゃんの治療のため、児童相談所に児童自立支援施設への入所を依頼する。
- 3 Aさんの就業に当たって、最寄りの母子家庭等就業・自立支援センターに関する情報を提供し、その利用の可能性についてAさんと検討する。
- 4 Aさんの退職の理由を詳細に聞くため、元の仕事を訪問する。
- 5 夫が勤務する会社に連絡し、配偶者暴力の背景となる要因がないか確認する。

## 相談援助の理論と方法

問題 98 ソーシャルワーク実践における人と環境の関わりに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 クライアント自身が捉える環境の意味を把握する。
- 2 環境要因に対するクライアント自身の他罰的な考え方を強化することを目的に支援する。
- 3 クライアントが抱えている問題の原因となっている環境要因を排除することで、問題解決を試みる。
- 4 クライアントを、環境から一方的に影響を受ける存在とみなして、支援を行う。
- 5 クライアントが問題を抱えた原因を、クライアントの性格に求める。

問題 99 事例を読んで、NPO法人のC相談員(社会福祉士)の今後の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

### 〔事例〕

Dさん(30歳、女性)は半年前に、夫の転勤によりN国から夫と二人の子どもと一緒に来日し、現在も四人で暮らしている。最近、長男のE君(10歳、小学生)が、弟(5歳)のおもちゃを取り上げたり、たたいたりするなどの行為を家庭内で行うようになった。Dさんは、E君から、「学校の同級生にからかわれている」と聞いた。E君の日本での生活について心配になったDさんは支援を求めてNPO法人を訪れ、C相談員の面接を受けた。

- 1 Dさんに、E君の暴力的な行為は時間が過ぎれば解決するので心配ないと伝える。
- 2 E君から、現在の学校や家庭での生活の様子や思いを聞く。
- 3 E君を他の学校に転校させるよう促す。
- 4 子どもたちを連れて帰国することを強く勧める。
- 5 個々の家族員に対し、E君に対する接し方を指示する。

問題 100 ソーシャルワーク実践理論に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 グループワークを体系化したのは、リッチモンド(Richmond, M.)である。
- 2 治療モデルを確立したのは、タフト(Taft, J.)とロビンソン(Robinson, V.)である。
- 3 生活モデルを提唱したのは、ピンカス(Pincus, A.)とミナハン(Minahan, A.)である。
- 4 ジェネラリスト・ソーシャルワークは、ソーシャルワーク理論の統合化により発展した。
- 5 ナラティブ・アプローチは、専門性に基づく支援者の知識に着目した。

問題 101 事例を読んで、この場面における解決志向アプローチに基づくFスクールソーシャルワーカー(社会福祉士)の対応方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Gちゃん(9歳、女児)には、1年ほど前から不登校の傾向が見られる。Fスクールソーシャルワーカーは、Gちゃん宅を訪問し、Gちゃんやその母親と2週間に1回程度の定期的な面接を行っていた。しかし、登校できる日数が徐々に減ってきた。Gちゃんは学校に行きたいと思っているが、朝起きると身体が動かず、登校することができないとのことであった。

- 1 Gちゃんが学校に行くことのできない原因の分析を行った。
- 2 Gちゃんに、変える必要のある考え方や行動について伝えた。
- 3 Gちゃん自身ではなく、家族の問題の克服を目指した。
- 4 Gちゃんに、学校に行き授業を受ける必要性を強く意識させた。
- 5 Gちゃんが学校に行くことのできた日の状況や行動に焦点を当てた。

問題 102 リード(Reid, W.)とエプスタイン(Epstein, L.)が提唱した課題中心アプローチに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 ストレングスモデルの影響を受けている。
- 2 過去に起きた出来事について探索し、問題の原因を究明する。
- 3 支援期間を短期に設定し、処遇目標や面接の回数などを明確化する。
- 4 クライアント自らが解決困難と考える問題を、支援対象とする。
- 5 精神分析的な方法を用いて、クライアントのアセスメントをする。

問題 103 エンパワメントアプローチに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 人・状況・両者の相互作用という三つの相互関連性からクライアントの問題を捉え、「状況の中の人間」という視点を重視する。
- 2 観察可能な行動として問題を捉え、行動に影響する諸条件を操作することにより行動を変容させる。
- 3 危機的な状況に陥ったクライアントにできるだけ早期に介入し、現実を受け入れ再出発することを支援する。
- 4 クライアントが、自分の置かれている抑圧状況を認識し、潜在能力に気づき、対処能力を高めることに焦点を当てる。
- 5 クライアントのニーズを援助機関の機能との関係で明確化し、その機能を個別化して提供することに焦点を当てる。

問題 104 相談援助の過程におけるインテーク段階に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 クライエントの主訴を把握し、ソーシャルワーカーが所属する機関の機能について説明する。
- 2 クライエントの支援計画の策定のために、具体的なサービスを検討する。
- 3 クライエントの生活全般にわたり支援の効果を評価し、支援経過を確認する。
- 4 クライエントとその環境全般にわたる多様な情報を収集し、支援計画を作成する。
- 5 クライエントと共に支援の成果について話し合い、今後の生活目標を設定する。

問題 105 事例を読んで、この段階における社会福祉協議会のH社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

P町の社会福祉協議会のH社会福祉士は、J民生委員からKさん世帯の相談を受けた。Kさん(70歳、女性)は、一人息子(45歳)との二人暮らしである。息子は20代に統合失調症を発症し、その後、精神科に入退院を繰り返していた。1年前に退院し、定期的に通院していたが、このところ通院が不定期になっている。最近、J民生委員はKさんから、「息子が暴力まではいかないが、暴言を吐くことがある」と聞き、Kさん世帯を心配するようになった。

- 1 P町の保健師と家庭を訪問し、息子の病状と世帯の生活状態を把握する。
- 2 息子に社会生活技能訓練(SST)を受けさせるための手続を行う。
- 3 息子の主治医に連絡し、措置入院の手続を行う。
- 4 息子の自立を当面の目標にして、就労支援サービスに結び付ける。
- 5 Kさん一家の家計状況について、地域住民から情報収集を行う。

問題 106 ソーシャルワークの記録に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 個人情報の保護よりも閲覧のしやすさを優先して保管する。
- 2 文章で表現し、記号や図は使用しない。
- 3 クライアントやその家族からの情報は、正式な記録とはならない。
- 4 サービス利用者本人には非開示としなければならない。
- 5 適正に援助業務を遂行したことを説明するための証拠となる。

問題 107 事例を読んで、L社会福祉士が、個別支援を地域支援に展開していくための対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

社会福祉協議会に勤務するL社会福祉士は、民生委員からMさん(72歳、男性)のことが気になると相談を受けた。Mさんは1年ほど前に妻を亡くし、それ以降、自宅に閉じ籠もっているという。その後、民生委員とMさん宅を訪問するうちに、「慣れない家事に苦勞し、悩みを打ち明けられる人もいない」という思いを聞くことができた。民生委員によると、この地域には一人暮らしの男性高齢者が他にもいるということだった。

- 1 民生委員にMさん宅での食事づくりを依頼する。
- 2 Mさんに対し、介護保険制度における訪問介護の利用を勧める。
- 3 Mさんに対し、友人を作るように助言する。
- 4 住民に呼び掛け、Mさんと同じような状況にある高齢者が参加しやすい居場所づくりを進める。
- 5 一人暮らしは困難と判断し、施設入所に向けて手続を進める。

問題 108 事例を読んで、Q市社会福祉協議会のA社会福祉士の用いた面接技法を示すものとして、正しいものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Q市社会福祉協議会に、一人暮らしのBさん(42歳、男性)が生活が苦しいと相談に訪れた。Bさんは20代後半まで正規就労していたが、体調不良により離職した。それ以来、不安定な就労が続いている。「親には迷惑を掛けたくないし、行政のお世話になるのも気が引ける…」と黙り込むBさんに、A社会福祉士は、「どうにもならなくて、おつらいのですね」と伝えた。

- 1 開かれた質問
- 2 直面化
- 3 自己開示
- 4 対決
- 5 感情の反映

問題 109 ケアマネジメントの方法に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 スクリーニングの結果、ケースの終結が判断される。
- 2 アセスメントでは、精神面・身体面の把握のみならず、住環境、家族関係、経済状況、援助の状況など幅広い生活障害全般の把握を行う。
- 3 ケアプランの作成は、過去の類似事例と同様の内容で作成する。
- 4 ニーズと資源の接合(リンケージ)は専門職主導で行い、決定後にクライアントに内容の説明をする。
- 5 モニタリングには、支援が必要と判断された人を支援提供機関などに連絡し、紹介することが含まれる。



問題 110 事例を読んで、C相談支援専門員(社会福祉士)によるストレングス視点に基づいた対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

X指定特定相談支援事業所のC相談支援専門員は、軽度の知的障害があるDさん(18歳)の、特別支援学校高等部卒業後のサービス利用に関する会議を開催することとなった。会議では、Dさん自身からサービス利用について話をしたいとの希望があったので、発言の機会を持つことにしていた。しかし、直前になって、「みんなの前に出るのが不安なので、発言できるか分からない」と言った。

- 1 サービス実施には専門職の意見が重要視されるので、Dさんが発言をやめても差し支えないと伝える。
- 2 C相談支援専門員がDさんの思いを代わりに伝えるので、発言しなくても良いと説明する。
- 3 発言すると自分が決めた以上は、最後まで責任を持ってやり遂げるように指導する。
- 4 自分から発言しようとしたことを尊重し、会議で発言する内容や方法を一緒に考える。
- 5 代わりに家族に発言してもらった方が良いと提案する。

問題 111 ソーシャルワークで活用されるインフォーマルな社会資源の特徴に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 制度化されたサービスである。
- 2 利用者は、一定の手続と受給要件を満たす者に限られる。
- 3 利用者との私的な人間関係を通して、援助が提供される。
- 4 フォーマルな社会資源と比べ、提供されるサービスの継続性や安定性は高い。
- 5 フォーマルな社会資源と比べ、利用者の個別的な状況に対する融通性は乏しい。

問題 112 事例を読んで、E家庭支援専門相談員(社会福祉士)が行った社会資源のアクセスメントに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

Y乳児院に入所しているFちゃん(2歳)の母親は、自身の慢性疾患による病状が安定したことから、引取りを希望している。そのため、E家庭支援専門相談員はFちゃんの退所を検討することとした。面談の結果、母親の状況として把握したことは以下のとおりである。

退所後は、母親とFちゃんの二人で暮らす予定である。親族は他県に住む母親の姉だけである。近隣の人とは挨拶程度の付き合いである。

- 1 近隣の方は、挨拶程度の付き合いなので社会資源に該当しないと判断する。
- 2 他県に住む母親の姉は、遠方なので社会資源に該当しないと判断する。
- 3 母親のかかりつけ医は、Fちゃんにとっても社会資源に該当すると判断する。
- 4 地域子ども・子育て支援サービスを利用するために必要な情報は、社会資源に該当すると判断する。
- 5 退所した乳児院は、社会資源に該当しないと判断する。

問題 113 グループワークの展開過程において用いられる主な援助技術に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 準備期には、契約の締結がなされる。
- 2 開始期には、援助関係の形成がなされる。
- 3 作業期には、波長合わせがなされる。
- 4 終結期には、集団規範の形成がなされる。
- 5 移行期には、個人的事情や思いの分かち合いがなされる。

問題 114 事例を読んで、グループワークでのG社会福祉士の対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

G社会福祉士は、子どもをがんで亡くした親の集まりの会を開くことにした。最初の集まりで、自己紹介を行った後、メンバーは自分自身が現在気になっていることについて話し始めた。Hさんの順番になったところ、Hさんは涙を浮かべて何か言おうとするが言葉に詰まる様子であった。

- 1 Hさんに退出を促し、別室で過ごすよう伝える。
- 2 Hさんの気持ちを受け止め、できる範囲で話をするよう伝える。
- 3 グループ活動を中断し、Hさんと別室で個人面談を行う。
- 4 Hさんの思いをメンバーが共有できるように、グループ全体に働き掛ける。
- 5 Hさんの言葉を待たずに、順番を飛ばして次の人に話をするよう促す。

問題 115 ソーシャルワークにおけるスーパービジョンに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 スーパーバイザーとは、スーパーバイズする立場の人のことである。
- 2 意義は、クライアントへのサービスの質、専門性の質などの維持・向上を図るために業務の振り返りを促すことにある。
- 3 管理的機能とは、スーパービジョン関係を用いて情緒的・心理的な面をサポートすることである。
- 4 支持的機能とは、専門職としての知識・技術・価値・倫理を習得させることである。
- 5 教育的機能とは、業務遂行が可能になるように適切な業務量などに目配りすることである。

問題 116 相談援助におけるプランニングに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 実現することが困難な課題を重視し、策定しなければならない。
- 2 サービス優先アプローチに基づいて策定しなければならない。
- 3 クライアントと協働して策定しなければならない。
- 4 短期目標は、将来的なビジョンを示すものとして設定しなければならない。
- 5 策定したプランの内容に基づいて、エンゲージメントをしなければならない。

問題 117 個人情報の保護に関する法律に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 個人情報取扱事業者には、地方公共団体が含まれる。
- 2 個人情報取扱事業者の義務は、規定されていない。
- 3 健康診断やその他の検査の結果の情報の取得に当たっては、原則として本人の同意を得ることが必要とされている。
- 4 個人情報の有用性に配慮しつつ、個人情報取扱事業者の権利利益を保護することを目的としている。
- 5 個人情報保護に関する官民を通じた基本となる事項を定めた法律である。

問題 118 社会福祉領域における情報通信技術(ICT)の活用に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 情報リテラシーとは、情報通信ネットワークを利用するのに必要な知識や技術のことである。
- 2 デジタル・デバイドとは、福祉情報の積極的な活用を意味する。
- 3 データベース化された業務情報の活用には、データファイルの管理運営が大切である。
- 4 援助における情報収集の段階で、IT機器による音声・画像の記録は禁止されている。
- 5 電子メールによる相談は、個人情報保護の観点から受け付けられない。

## 福祉サービスの組織と経営

問題 119 社会福祉法人に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 役員の選任は、評議員会の決議を必要とする。
- 2 株主がないため、事業経営の透明性の確保は求められない。
- 3 親族等特殊関係者の理事、評議員、監事への選任に係る規定はない。
- 4 監事は、理事、評議員又は当該法人の職員を兼ねることができる。
- 5 理事、監事等の関係者に対し特別の利益を与えることができる。

問題 120 Z介護老人福祉施設では、介護課(介護職員)、看護課(看護職員)、相談課(相談員)、栄養課(栄養士等)、総務課に分かれ、各職種が連携してサービスを提供している。

また、施設全体で取り組むべき特定の課題の解決のために、各職種が横断的に参加する委員会を適宜設置している。

次のうち、以上の記述にみられるZ施設の組織構造の特徴を表す用語として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 非公式組織
- 2 事業部制組織
- 3 職能別組織
- 4 機械的組織
- 5 プロジェクト組織

問題 121 組織と外部環境に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 科学的管理法は、複雑な外部環境の変化に対応して組織を管理するために考案された。
- 2 外部環境や経営戦略が大きく変化した場合でも、組織構造はできるだけ変えないことが望ましい。
- 3 内部規則を重視する組織文化を持つ組織は、外部環境の大きな変化に対応しやすい。
- 4 外部環境である政策や制度の変更は、組織の経営戦略に影響を与える。
- 5 短期的な外部環境の変動に対応して、組織の使命・理念を頻繁に変えることが望ましい。

問題 122 社会福祉法人の財務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 再投下可能な財産(社会福祉充実残額)を算定しなければならない。
- 2 土地は、減価償却の対象となる資産である。
- 3 財務会計は、組織内での使用を目的とする。
- 4 財務諸表に関する開示義務はない。
- 5 役員の報酬等の支給の基準を公表する義務はない。

問題 123 サービスマネジメント論に基づく福祉サービスの運営管理の在り方に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 サービスへの利用者の満足度を高めるためには、サービス利用前から利用者がサービスへの高い期待を持つように働き掛けることが望ましい。
- 2 サービス・プロフィット・チェーンの考え方によれば、サービスへの利用者の満足度を高めるためには、従業員の仕事への満足度を高めることが重要である。
- 3 利用者のニーズに沿った創意工夫を従業員に促すためには、現場の裁量を認めるのではなく、マニュアルなどの外在的な管理手段を徹底していくことが有効である。
- 4 利用者にサービスの品質を評価してもらう際は、サービスの提供過程に対する評価よりも、サービスの結果に対する評価を重視することが重要である。
- 5 利用者の多様性に対応するためには、各々の従業員の価値観の多様性を認めることが望ましいので、組織としてのサービスの理念や価値を明文化すべきではない。

問題 124 福祉・介護サービス提供体制の確保に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 福祉サービス第三者評価事業は、福祉サービスの質の向上を目的に創設された。
- 2 介護サービス情報の公表制度では、介護保険事業を行う全事業所への調査が義務づけられている。
- 3 社会福祉事業の経営者は、利用者等からの苦情の解決を所在地の市町村に委ねなくてはならない。
- 4 市町村は、社会福祉法に基づき、運営適正化委員会を設けなければならない。
- 5 個人データは、利用する必要がなくなった場合でも、電子データとして保存するよう努めなければならない。



問題 125 人材育成や研修に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 経験学習モデルは、能動的実験・具体的経験と内省的観察・抽象的概念化との間の循環を否定している。
- 2 暗黙知と形式知の、共同化、表出化、連結化、内面化からなる循環的な変換過程は、組織の知識を創発するのに有効である。
- 3 OJTでは、職員の職務遂行能力は対象外である。
- 4 OFF-JTは、作業遂行の過程で行う訓練方法のことである。
- 5 エルダー制度は、新入社員のセルフラーニングを通じた自己啓発の仕組みである。

## 高齢者に対する支援と介護保険制度

問題 126 「平成 28 年版高齢社会白書」(内閣府)における国際比較調査(日本, アメリカ, ドイツ, スウェーデン)に関する次の記述のうち, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 現在の貯蓄や資産が老後の備えとして「やや足りない」と「まったく足りない」と回答した高齢者の割合の合計は, 日本が最も多い。
- 2 近所の人と「病気の時に助け合う」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も多い。
- 3 「今後, 収入を伴う仕事をしたい(続けたい)」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も少ない。
- 4 ふだん, 近所の人と「お茶や食事を一緒にする」と回答した高齢者の割合は, 日本が最も多い。
- 5 老後生活に「満足している」と「まあ満足している」と回答した高齢者の割合の合計は, 日本が最も多い。

問題 127 介護保険制度に関する次の記述のうち, 市町村の役割として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 介護保険給付費のための支出会計区分は, 一般会計である。
- 2 要介護状態区分を定める。
- 3 介護保険の財政の安定化に資する事業に必要な費用に充てるため, 財政安定化基金を設ける。
- 4 第一号被保険者の保険料の徴収を特別徴収の方法によって行うことができる。
- 5 介護保険審査会を設置する。

問題 128 次の記述のうち、対麻痺の状態に当たるものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 左右どちらかの上肢と下肢に麻痺がある状態
- 2 右上肢と左下肢に麻痺がある状態
- 3 左上肢に麻痺がある状態
- 4 両下肢に麻痺がある状態
- 5 四肢全体に麻痺がある状態

問題 129 右片麻痺で嚥下機能が低下した状態にある人に対する食事介護の在り方として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 食形態は、きざみ食が適している。
- 2 食前に嚥下体操を行う。
- 3 食事の時は、左側にクッションを入れ座位姿勢が保てるようにする。
- 4 右側から食事介助をする。
- 5 口腔内の右側に食物残渣がないか確認をする。

問題 130 事例を読んで、緩和ケアチームにおけるソーシャルワーカー(社会福祉士)の主な役割として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Jさん(60歳)は、自宅で妻(58歳)と二人暮らしである。先日、腹部に違和感があり、病院で受診した。その結果、ステージⅣの胃がん(他の器官への転移あり。)が見つかった。主治医は、病状の進行状況を勘案し、自宅での療養を勧めた。主治医と夫婦で話し合い、在宅での療養に同意した。妻は病院内のソーシャルワーカーと共に、Jさんの緩和ケアを目指した在宅療養について、話し合いを始めた。ソーシャルワーカーは、主治医、看護師、訪問看護師、薬剤師、介護支援専門員と共に関係者会議を行った。

- 1 身体的痛みに対するコントロール
- 2 医療的ケアへの助言
- 3 療養に関わる助成制度や経済的な問題への助言
- 4 薬物療法への助言
- 5 日常の介護の相談

問題 131 高齢者に関わる保健医療福祉施策に関する次の記述のうち、施策の開始時期が最も早いものを1つ選びなさい。

- 1 老人福祉法による70歳以上の者に対する老人医療費支給制度
- 2 老人保健制度
- 3 老人福祉法による65歳以上の者に対する健康診査
- 4 介護保険制度
- 5 高齢者保健福祉推進十か年戦略(ゴールドプラン)

問題 132 介護保険法における指定居宅サービス事業者(地域密着型サービスを除く)の指定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 指定居宅サービス事業者は、市町村長が指定を行う。
- 2 事業者は、市町村長から3年ごとに指定の更新を受けなければならない。
- 3 市町村長は、事業者からの廃業の届出があったときは、公示しなければならない。
- 4 都道府県知事は、居宅介護サービス費の請求に関する不正があったとき、指定を取り消すことができる。
- 5 事業の取消しを受けた事業者は、その取消しの日から起算して3年を経過すれば指定を受けることができる。

問題 133 介護保険法における国民健康保険団体連合会の役割に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 第二号被保険者から要介護認定の申請があった場合、認定調査を行う。
- 2 市町村から委託を受けて、各種介護サービス費の請求に関する審査・支払を行う。
- 3 適正な業務管理体制を整備していない介護サービス事業者に対し、是正勧告・命令を行う。
- 4 介護支援専門員の試験及び研修、登録に関する業務を行う。
- 5 第一号被保険者の保険料を、政令で定める基準に従い条例で定めるところにより算定された保険料率で算定する。

問題 134 指定居宅介護支援事業所の介護支援専門員の役割に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 居宅サービス計画を作成した際に、当該居宅サービス計画を利用者及び担当者に交付しなければならない。
- 2 居宅サービス計画原案の内容について、文書でサービス担当者から同意を得なければならない。
- 3 実施状況の把握(モニタリング)に当たり、月に2回以上、利用者に訪問面接をしなければならない。
- 4 居宅サービス計画には、介護給付等対象サービス以外の、地域の住民による自発的な活動によるサービスを含めてはならない。
- 5 利用者が訪問看護、通所リハビリテーション等の医療サービスを希望している場合、利用者の同意を得て主治医等の意見を求めなければならない。

問題 135 事例を読んで、R市の地域包括支援センターに勤務するK社会福祉士の、この時点での対応に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

〔事例〕

L民生委員が、担当地域のMさん(73歳、男性)への対応について相談するため来所した。Mさんは自分の年金で生活できているが、物忘れが多いという自覚があり、賃貸アパートの家賃の支払が滞ることがある。親族や近隣との付き合いはない。Mさんは自宅での生活を望んでいる。

- 1 Mさんから心身の状況や日常生活について話を聞く。
- 2 K社会福祉士の判断で、要介護認定の申請に関する手続を代行する。
- 3 Mさんには財産管理はできないと考え、市長申立てで成年後見人を選任する。
- 4 Mさんに、R市の社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業について説明する。
- 5 地域包括支援センター運営協議会に諮り、支援方針を決定する。

## 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度

問題 136 幼保連携型認定こども園に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童福祉法に規定する保育所の一類型として位置づけられている。
- 2 保育教諭及び社会福祉士を置かなければならない。
- 3 満3歳未満の保育を必要とする子どもは、入園の対象から除外されている。
- 4 設置主体にかかわらず、保育料は市町村が徴収する。
- 5 学校及び児童福祉施設として位置づけられている。

問題 137 以下の文章は、障害児福祉の発展に貢献した人物の紹介である。紹介されている人物として、正しいものを1つ選びなさい。

近江学園の創設者。重度の障害児であっても、人間らしく生きていくことが重要であると考え、「この子らに世の光を」ではなく、「この子らを世の光に」という言葉を通して、人間尊重の福祉の取組を展開した。

- 1 石井亮一
- 2 高木憲次
- 3 糸賀一雄
- 4 福井達雨
- 5 留岡幸助

問題 138 児童が「自由に自己の意見を表明する権利を確保する」と明記しているものとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童福祉法
- 2 児童の権利に関する条約
- 3 児童虐待の防止等に関する法律
- 4 児童権利宣言
- 5 児童憲章

問題 139 母子生活支援施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 父子家庭も入所の対象とすることができる。
- 2 入所する児童は、15歳に満たない者とされている。
- 3 母子室は、4世帯につき1室以上が設備基準とされている。
- 4 施設長は、入所中の個々の母子について、自立支援計画を立てなければならない。
- 5 家庭支援専門相談員を置かなければならない。



問題 140 事例を読んで、S市子ども家庭課の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

S市子ども家庭課は、連絡が取れないまま長期間学校を欠席している児童がいると学校から通告を受けた。S市では虐待の疑いがあると考え、A相談員(社会福祉士)が直ちに家庭訪問を実施した。しかし、保護者と思われる人物から、「子どもに合わせるつもりはない」とインターホン越しに一方向的に告げられ、当該児童の状態を把握することはできなかった。

- 1 家庭訪問の結果を学校に伝え、対応を委ねる。
- 2 近隣住民に通告のことを伝え、児童を見かけたらS市に情報提供してもらう。
- 3 一時保護などの可能性を考慮し、児童相談所長に通知する。
- 4 家屋内への強制的な立入調査を行い、直ちに児童の安全を確認する。
- 5 親権喪失審判請求の申立てを行う。

問題 141 児童委員の職務として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 児童及び妊産婦について、生活や取り巻く環境の状況を把握する。
- 2 養育医療の給付を行う。
- 3 乳児院に入所させる。
- 4 一時保護を決定する。
- 5 里親への委託を行う。

問題 142 里親支援専門相談員に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 社会福祉士の資格を有する者でなければならない。
- 2 施設入所している被虐待児童等への生活場面での1対1の対応、保護者への援助を主な目的としている。
- 3 施設入所している児童の保護者等に対し、児童の早期家庭復帰、里親委託等を可能とするための相談援助を主な目的としている。
- 4 厚生労働大臣が指定する者が行う研修を受講することが、義務づけられている。
- 5 里親支援を行う児童養護施設及び乳児院に配置される。

## 就労支援サービス

問題 143 障害者雇用率制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 2018年(平成30年)4月1日から、法定雇用率の算定基礎の対象に精神障害者が含まれることになっている。
- 2 重度身体障害者は、障害者雇用率の算定上、一人をもって三人とみなされる。
- 3 特例子会社とは、事業内容を勘案して障害者の雇用義務を課さないと認められた子会社のことである。
- 4 法定雇用率未達成の事業主は、利益率に応じて障害者雇用納付金を納付しなければならない。
- 5 国や地方公共団体には、一般の民間企業より低い法定雇用率が課せられている。

問題 144 生活困窮者自立支援法による自立相談支援事業を行う責務を有する組織・

機関として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 公共職業安定所(ハローワーク)
- 2 市及び福祉事務所を設置する町村又は都道府県
- 3 児童相談所
- 4 都道府県労働局
- 5 障害者職業センター

問題 145 職場適応援助者(ジョブコーチ)の役割に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 事業所に対し、支援対象者のために新規の事業を用意するよう要求する。
- 2 事業所に代わって、職場外で支援対象者の職業訓練を行う。
- 3 事業所の求人ニーズに合わせて、求職者をあっせんする。
- 4 支援当初は支援対象者と職場で一緒にいる時間を少なくし、徐々にその時間を増やしていく。
- 5 支援対象者が職場の同僚とコミュニケーションを図ることができるよう調整する。

問題 146 事例を読んで、U障害者就業・生活支援センターのB支援担当者(社会福祉士)が考える連絡先として、次のうち最も適切なものを1つ選びなさい。

[事例]

B支援担当者は、再就職を希望するCさん(25歳、男性)に対し、職業適性検査などを含め就労準備の支援を継続していた。ある日、Cさんから、退職した前の会社に未払の残業代があり解決したいと相談があった。そこで、B支援担当者はその解決にふさわしい連絡先を考えている。

- 1 警察署
- 2 障害者職業能力開発校
- 3 都道府県労働局
- 4 福祉事務所
- 5 公共職業安定所(ハローワーク)

## 更生保護制度

問題 147 更生保護制度に関する次の記述のうち、正しいものを2つ選びなさい。

- 1 更生保護制度を基礎づけている法律は、更生保護法である。
- 2 更生保護制度は、刑事政策における施設内処遇を担っている。
- 3 更生保護の対象者は、保護観察に付されている者に限る。
- 4 更生保護に関する事務は、家庭裁判所が所掌している。
- 5 保護観察所は、更生保護を実施するための第一線の機関である。

問題 148 更生保護制度の担い手や施設に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 保護観察官は、地方検察庁に配置されている。
- 2 保護司は、担当事件によっては給与が支払われる。
- 3 保護司の職務は、保護観察事件に限定されている。
- 4 更生保護施設への委託期間は、更生緊急保護対象者の場合、延長することが可能である。
- 5 更生保護施設は、地方公共団体が運営しなければならない。

問題 149 触法少年に対する関係機関の対応に関する次の記述のうち、適切なものを1つ選びなさい。

- 1 警察は、触法少年を検察官に送致することができる。
- 2 警察は、触法少年を地方裁判所に送致することができる。
- 3 児童相談所長は、触法少年を児童自立支援施設に入所させることができる。
- 4 児童相談所長は、触法少年を検察官に送致することができる。
- 5 家庭裁判所は、触法少年を検察官に送致することができる。

問題 150 事例を読んで、医療観察中にD社会復帰調整官がEさんに対して行うことのできた業務として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

保護観察所のD社会復帰調整官は、医療観察の対象者であるEさんを担当して、指定入院医療機関に入院中の生活環境の調整に始まり、関係機関との連携を図るケア会議を開催した。その後、Eさんは退院し、入院によらない医療を受けながら自宅での生活を行った。その間、精神科病院への一時的入院もあったが、法定期間満了前に処遇の終了を迎えることができた。

- 1 Eさんの生活環境の調整を保護司に委ねた。
- 2 Eさんの精神保健観察中に「守るべき事項」を決定した。
- 3 開催されたケア会議において、Eさんの退院許可の決定を行った。
- 4 入院によらない医療を受けているEさんに対して、「精神保健福祉法」の規定による入院を行うための調整をした。
- 5 Eさんの指定通院医療機関による医療の終了を決定した。

(注) 「精神保健福祉法」とは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」のことである。